

スタッフを一気に紹介させていただいた5月号に引き続き、秘密のベールに包まれた経営陣をご紹介します！
 というのも、近年ではスタッフ中心で動いている事もあり、私の出番が少ない ... あれ誰だ？と言われないように厚くましくも自己紹介させていただきます m(__)m

私は、生粋の伊勢っ子として、伊勢病院で生まれてから一度も伊勢以外に住んだことが無いジモピーでございます。
 20才でプログラマーとして就職した松阪の会社ではなかなか優秀だったと自負していますが、月月火水木金金、週7日労働、200時間残業を記録するなど現代ではなかなか無い働き方を体験、そして学歴社会の壁にプチ当たった事から退職いたしました。
 ちなみに、当時は官公庁向けの給与人事システムのプログラムを担当し、給与計算や労務管理を継続的に勉強していたので、現在も自社の「給与・労務・勤怠管理」は私が行っています(趣味に近いです)。

そして、紆余曲折ありましたが、22年前に前社長の増川らと共にコムデックを創業し、平取締役から専務取締役を経て7年前に社長を引き継いでからは、生田専務と二人三脚で経営とは何か？いい会社とは何か？そしてどうやって利益を出すのか？を真剣に考えながら社業に励んでおります。
 お酒も飲めない至って真面目な人間ですが、美味しい食事が大好きなので、私とお話したい方は是非お食事誘ってください！



DATA

名前: 樋口 雅寿(ひぐち まさとし)
 生年月日: 1972年8月18日 誕生日プレゼント募集中♡
 出身校: 「有網幼稚園」→「有網小学校」→「倉田山中学校」→「鳥羽商船 制御情報工学科」と生粋の伊勢っ子です！
 所属団体: 伊勢中央ロータリークラブ / 三重県経営品質協議会
 趣味: 釣りとランニングと読書(年間100冊読みます)

苦手: アルコールはほぼ飲みません
 宣伝: 先日ミュッシュランガイドでピブグルマンになった「向井酒の店」は母親の実家で従兄が包丁を握っています。宴会等々のご利用宜しくお願い致します m(__)m

新連載 元銀行員幾美のDXチャレンジ 第3回 『Girl meets LINE WORKS②』

ごきげんよう！元銀行員の「I」です。前回は私の元職場、銀行におけるコミュニケーションのすれ違いが生む悲劇について解説いたしました。今回は、LINE WORKSというツールを手にして如何に仕事の効率が上がったか、についてお伝えしたいと思います。本当はロミオとジュリエットを題材に報連相の重要性を説こうと思っていたのですが...原稿用紙5枚分はわかりそうだったので自粛しました。気になる方は私までどうぞ。仕事において「報告・連絡・相談」が重要であることは皆様ももちろんご存知のはず。部下にとっては報告や相談をしなくては仕事が進まないですし、上司にとってはなかなか報告がないから進捗状況が問題ないのか、方向性は自分の指示と相違ないか...と気になることが山積みでしょう。しかしそれをいちいち相手の時間をつかって対面で処理しようとする、お互いの時間が合わず結局報告が遅れに遅れてさあ大変...とならないための、報連相の効率を飛躍的に上げるためのカギがLINE WORKSにはあるのです。

チャットという特性上、電話や対面ほど相手の時間を拘束せず、メールほど畏まった前置きや改まった説明を要することもなく、伝えたいこと、確認したいことをすぐその場で送ることができます！社長がたとえ東京に出張に行っていると、船の上で釣りに興じていると、お構いなしに「@社長 ○○様より▲▲の件についてお電話がありました。折り返しをお願いいたします。」と送りつけることが可能です。

結果、「確認を取る」と「報告をすること」に一切の躊躇いがなくなり、スピード感を持って確認事項を消化していけるため仕事を次に進めやすい+逐次方向性の確認ができるため手戻りが少なくて済むという効率化に成功しました。

もちろんチャットだけで確認できることばかりではありませんが、それについては「○○の件について確認したいので、20分ほどお時間頂けますか？」と事前に相手に伝えることで、相手に時間を押さえてもらいやすくなります。

今回は、LINE WORKSを使う上で気を付けていること、「今すぐ実践！これであなたもLINE WORKSマスター！」についてお伝えします！



ロミオとジュリエットは報連相が欠けていたことによる悲劇です

お盆の営業予定のお知らせ お盆休みが、なくなりました！

サービス業の多い伊勢地域では、お盆休みは稼ぎ時！のお客様が多く、以前からお盆休みの休日対応を求める声が多くございました。弊社では、休暇制度の見直しを行うことで、お盆休暇全員一斉取得から、各自が7～9月に9連続休暇を取得する方式に変更させていただきました。親族の帰省や、お墓参りなどお盆行事もありますので、家族が居るスタッフはやはりお盆に休暇を取るケースが多く、対応はやや手薄にはなりますが以前よりはお役に立てる機会が増えることになり、嬉しく思っております。一方で、各担当が9連休(土日含む)を取得致しますことから、ご迷惑をお掛けする事もあるかと思っております。社内にて相互にフォローできる体制を強化しておりますが、至らぬ点がございましたら改善してまいりますので、何卒ご理解の程よろしくお願いたします。

COMDEC Imadoki 2019 August 08 vol. 52



楽天ラクマでタイムレコーダー処分したとのご連絡が...

IT活用戦略セミナーで二番目に多く問い合わせをいただいたのが、勤怠管理クラウドサービス「King of Time」です。早速導入されたWeb制作会社T社長から「楽天ラクマでタイムレコーダー売っちゃった！」と興奮気味にご連絡を頂戴いたしました。T社長はIT活用戦略セミナーの度に新しいサービスを試される事で弊社でも有名な方ですが、今回導入された「King of Time」を随分気に入られたようで、不要になったタイムレコーダー&カードを即処分されたそうです。メルカリや楽天フリマをチェックしてみたら、確かに「会社で使って不要になりました！」と、タイムレコーダーが多数出品されています。T社長のタイムレコーダーは1500円で売れたそうですが、そのうち出品が多くなりすぎて売れなくなる気がします。

「タイムカードへの打刻=勤怠管理 ではありません」
 働き方改革法への対応を、タイムカードで行うのが難しい理由は、以下の二点を求められているためです。

- 毎月の労働時間に加え一定月間の平均労働時間も管理し、労働時間の上限を超えないよう管理する。
 また、従業員にタイムリーに指導できる仕組みと連携させる。
- タイムカードやICカード、パソコンの使用時間の記録等「客観的な記録」を用いて勤怠管理を行う。

旧来のタイムカードへの打刻は、「勤怠管理」ではなく「不完全な勤怠記録」であり、働き方改革法で求められている「勤務状況のリアルタイム把握」には到底対応ができません。また、「客観的な記録」については、タイムカードでは従業員の手書きメモによる残業記録と勝負にならず100%企業側が不利になることから、労務リスクのコントロールが必要とされる企業様では「King of Time」に限らず勤怠管理システムの導入と、社会保険労務士様へ就業規則と雇用契約書の運用相談をお勧めいたします。

Googleマイビジネス使ってますか？

皆様、Googleマップをご存知ですか？Googleマップのはじまりは2005年、今から14年前に遡ります。いやGoogleマップくらい小学生でも知ってるよ14年前なんて全くImadokiじゃないじゃないか、そんな皆様の心の声が聞こえてくるようです。ところがどっこい、今この2019年において、Googleマップがビジネスオーナーの視点から非常にアツいコンテンツとなっております。

ではまず、スマホのGoogleマップで是非自社の名前で検索してみてください。
…情報が表示されましたか？ちなみにコムデックはこんな感じです。

会社名や住所、営業時間、さらに下に行くと、口コミと写真等が掲載されています。この情報、全部勝手に表示されると思ったら大間違い！ここに任意の情報を出すためには、Googleマップに対して「その会社のオーナーです！」と申請をし、「ビジネスオーナー」になる必要があります。このビジネスオーナーになって各種情報を編集したりする機能を「Googleマイビジネス」というわけです。そんなことが必要なのか？面倒なだけだし特に効果もないのでは？いえいえそんなことはありません。

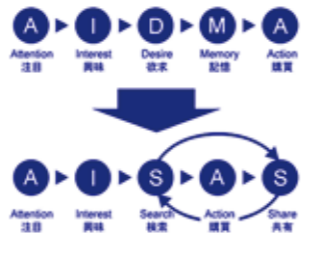
Googleマップにおいて会社情報を表示させるGoogleマイビジネスは、「無料で」、「最新の情報を」、「無意識レベルの広告として全世界に向けて発信できる」そんなツールです。
…少しは興味が湧いてきましたか？

ありがたいことに★5評価を頂いております。皆様もよろしければ口コミをご投稿ください！



(総務省 30年版情報通信白書より作成)

広告宣伝に対する消費者の行動プロセスの移り変わり



今、何かものを買入したり、サービスを受けたりする際に**事前にリサーチをすることが当たり前**になっています。以前はAIDOMA(存在を知ってから興味を持ち、買いたい！と思ったら商品に対する記憶が強化され、買いに行く)と言われた消費行動の法則がAISAS(存在を知って興味を持ったら、インターネットでまず商品について調べ、購入し、最後に情報を共有する)に変化してきているのだとか。総務省が出している情報通信白書においても、インターネットの利用時間は増加傾向なことは明らか。皆さんも覚えはありませんか？「テレビを見ていて出てきた商品や場所が気になったらその場で検索」や「何もないときもつついスマホ」。そして人はそんな調べものをする際、マップから調べる人が多いんだそうです。普通の検索はスポンサー広告等の表示が多く、鬱陶しいのだとか。

「地図から検索」がいったいどんなことなのかといいますと、例えば、突然ラーメンが食べたくなったとしましょう。Googleマップで「ラーメン」と検索すると近隣のラーメン屋さんが地図上にドドッと表示されます。その中から行くお店を決めるとき、表示されたお店の情報をポチポチとみていくのではないのでしょうか。そこに表示された口コミの評価が良かったら…ラーメンの写真があまりにもおいしそうだったら…行きたいと思いませんか？逆に、調べても営業時間もわからない、行っても開いている保証のないラーメン屋さんに行く勇氣はありますか？この、営業時間や休業日といった基本情報から、口コミや商品の写真といった「さらに行く気にさせるコンテンツ」を一気に消費者に提示できるのがGoogleマイビジネスです。

先ほど、消費行動のAISASの法則をご紹介しました。最後のSはShare(情報共有)、そう、人は買ったり行ったりしたら情報共有したくなる生き物なのです。Googleマップには、その場所に対して写真とコメント付きで評価、つまり情報共有をする機能があります。現代の消費行動の入り口から出口までを担うことができるコンテンツがGoogleマップというわけですね！

また、Googleマイビジネスには「インサイト」という機能があります。簡単に言いますと、「どれくらいの人が自社のページに来てくれたのか」「どんなワードで検索をして自社のページにたどり着いたのか」を見ることができる機能です。この機能を活用すれば、「何を行った結果、アクセス数が増えたのか」「世間がどのような需要を持って自社を見ているのか」を分析することが可能でしょう。その他にも、メッセージの送受信や商品販売等、様々なビジネスに役立つ機能がついています。



Googleマップはもはや「地図」だけではなく様々な選択肢と情報を提示してくれます。



ここまでの話で、「どうせ関係あるのは飲食店や小売店だけでしょ」って思いませんでした？でもよく考えてみてください、お客様や採用予定者会社に来るとき、スマホでちょいちょい「会社の場所がどこなのか」は絶対に調べるはず。そんな時に表示される情報を捨てるのは、果たして得策といえるでしょうか？「Googleマイビジネス活用の5か条」を記載しましたので、是非御社にてGoogleマイビジネス活用をご検討いただければ幸いです。

企業のSNS活用が叫ばれて久しい現代ですが、次に着目すべきはこのGoogleマイビジネスだと言われています。もはや「意外と」ではなく当たり前前の事象として、「調べてから購入(行動)」「地図から検索」が普通になっている今、まずは地図上の自社のビジネスオーナーになってみてはいかがでしょうか？

※調べても地図上に会社が表示されない方や、「ビジネスオーナーになる」が表示されない場合は別途対応が必要となりますので、お調べください。

Googleマイビジネス活用の5か条

1. 会社名は必ず正式名称で！ ※キャッチコピー等はいれない
2. 営業時間や定休日等、基本情報をしっかり記載！
3. 載せる写真には必ず加工等の「ひと手間」を！
4. 口コミに対して返信をしよう！ ※悪い評価、コメントについても返信を推奨
5. インサイトを使って顧客動向を知ろう！

※あくまで個人の意見です

お願い！ OneDrive for Business もっと使ってください！！



弊社のお客様に最も使っていただいているクラウドサービスは、「Word/Excel/PowerPoint」、つまり「Office365Businessシリーズ」です。多くのお客様が「Office365Businessシリーズ」がクラウドサービスである事を意識する事なく利用されているためか、オンラインストレージ「OneDrive for Business」の活用度合がお客様によって差があると感じます。

1TBもの大容量クラウドストレージサービスが使える権利があるのに使わないなんて勿体ない！登場当時に当社では「さよなら～マイドキュメント」のキャッチコピーを考えてご紹介しましたが、登場から4年が経過し、知らない人が増えています！仕事で「OneDrive for Business」是非ご利用いただき、快適に仕事をさせていただきたいです。

再確認！ Office365に含まれる、個人用クラウドストレージ OneDrive とは？

クラウドストレージとしては、「Dropbox」や「Google Drive」の方が有名ですが、「Office365Business」ユーザー様なら誰でも月額料金内で1TBの大容量クラウドストレージ「OneDrive for Business」が御利用可能です。



デスクトップ上や、エクスプローラーにある青い雲のアイコンが「OneDrive」への入り口。WordやExcelからデータを「OneDrive」に保存するだけで自動的にMicrosoftのデータセンター(大阪・埼玉に設置)に保存され、以降はパソコンが壊れてもデータを喪失する事は無くなります。

OneDriveの凄いところ

データセンターへデータが安全に保存されます(日本政府も利用しているデータセンターとなります)

保存されたファイルは、履歴保存されるため、間違っても上書きしてもいつでも上書き前の状態だけでなく、複数世代前に復元可能です。

個人で複数利用するPCやスマートフォン、iPad等のデバイス間でデータ共有がスムーズに行え、データ漏洩の象徴的デバイスと言われるUSBメモリが不要となり、「さよならUSBメモリ」が実現できます。

クラウドサービスの特徴！本年からパスワード付きリンク送信機能が使えるようになるなど、毎年機能・性能が向上しています。

※残念ながらDropboxと比べるとまだスピードの点ではイマイチ... な時もありますが安定性はほぼ同等になっています。